

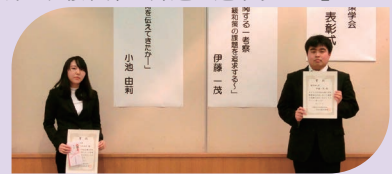
# 学生懸賞論文

地域政策学会では、学生会員の研究活動を支援し優れた研究成果を表彰するために学生懸賞論文を毎年実施しています。これまでの7年間で、29本の優れた受賞論文が生まれました。受賞した学生は、この実績を就職活動や大学院進学に役立てています。

## 歴代受賞作品

### 平成30年度

- 優秀論文賞「交通渋滞緩和策の課題に関する一考察～渋滞の発生原因を解明し、緩和策の課題を追求する～」  
学部4年 伊藤一茂 (森周子研究室)
- 奨励論文賞「伝承される妖怪—妖怪は何を伝えてきたか—」  
学部3年 小池由莉 (小牧幸代研究室)



平成30年度の受賞者

### 令和元年度

- 奨励論文賞「少女向けアニメにおける毒親の思想の表出と子どもへの影響に関する考察」  
学部4年 大塚有紗 (森周子研究室)

### 令和2年度

- 優秀論文賞「少年少女を知能犯にさせないための防止策・支援の現状に対する批判的考察」  
学部4年 細井明日香 (森周子研究室)
- 優秀論文賞「交通企業の経営と効率性評価に関する研究」  
学部3年 小熊ゼミ代表 王 宇軒 (小熊仁研究室)
- 奨励論文賞「稲含神社と貫前神社の関係性から地域を見る」  
学部4年 斎藤涼悟 (鈴木耕太郎研究室)



令和2年度の受賞者

### 令和3年度

- 優秀論文賞「観光列車の運行と経済効果～JR九州肥薩線「かわせみ・やませみ」の事例～」  
学部3年 大出泰己・石川 舞・工藤介太 (小熊仁研究室)
- 優秀論文賞「道の駅の採算性と要因分析—関東甲信越29駅の事例—」  
学部3年 堀 奏恵・山本紗萌 (小熊仁研究室)
- 優秀論文賞「セルフイ・フィルターの顔加工文化～ヴァーチャル空間における女性たちのエージェンシー～」  
学部4年 唐原逸希 (小牧幸代研究室)
- 奨励論文賞「明治期の鉄道開通と地域の変遷—高崎線の開通による、倉賀野河岸とその舟運の変化を中心に—」  
学部4年 倉持 凜 (鈴木耕太郎研究室)

### 令和4年度

- 最優秀論文賞「佐野橋が持つ文化的意味と橋観～「佐野の船橋」はどう「再現」されているのか～」  
学部4年 竹吉 鈴 (鈴木耕太郎研究室)
- 優秀論文賞「地方公共交通の持続可能性分析～地方鉄道・JR・地方航空を中心に～」  
学部3年 鉄道班・航空班 (小熊仁研究室)

- 優秀論文賞「新型コロナウイルス(無観客試合)によるチームの勝率への影響～サッカー欧州5大リーグを対象に～」  
学部4年 金井祐樹 (森田稔研究室)
- 優秀論文賞「補助金助成制度が空き家率に及ぼす影響についての実証分析」  
学部4年 寶木慎也 (森田稔研究室)
- 奨励論文賞「自然分娩と日本社会：「お産の痛み」は母性性の形成に不可欠か？」  
学部3年 大澤明日香 (小牧幸代研究室)
- 奨励論文賞「死刑制度の公平な運用に向けた数値化の検討」  
学部4年 茂木陸生 (鈴木陽子研究室)
- 奨励論文賞「村上市とテーマ化30年の足跡～地域におけるテーマ化の展開～」  
学部4年 内山直紀 (安田慎研究室)

## 令和5年度

- 最優秀論文賞「観光広告への接触と観光情報サイト閲覧行動の関係」  
学部4年 竹内雪乃 (井手拓郎研究室)
- 優秀論文賞「群馬県における子ども組研究」  
学部4年 高柳美奈 (鈴木耕太郎研究室)
- 優秀論文賞「地方議会の政治的意思決定における女性議員の影響—都道府県データを用いた実証分析—」  
学部4年 田代怜佳 (中村匡克研究室)
- 奨励論文賞「自然災害伝承碑の立地とその傾向—カスリーン台風を事例に—」  
学部4年 矢嶋稜大 (太田慧研究室)
- 奨励論文賞「芸能人が受ける権利の制約は妥当であるか—交際禁止条項とプライバシーから考える—」  
学部4年 小堤夕莉 (鈴木陽子研究室)
- 奨励論文賞「ページをめくる冒険—「SとN」を事例とした観光情報誌が描く地域の物語—」  
学部4年 武藤未来 (安田慎研究室)
- 奨励論文賞「観光評価の構築と運用をめぐる研究—長野県白馬村における事例から—」  
学部4年 渡部 泉 (安田慎研究室)



令和5年度の受賞者

## 令和6年度

- 最優秀論文賞「個人経営レストランが持つ地域コミュニティへの関係性—群馬県富岡市のレストランのサードプレイス分析から—」  
学部4年 瀬下 希 (若林隆久研究室)
- 優秀論文賞「子どもの貧困と体験格差の現状と課題—体験が重要視されるには何が必要か—」  
学部4年 佐藤歩美 (原史子研究室)
- 奨励論文賞「草津温泉における温泉情緒をめぐる研究—温泉街における空間の弱化と回復の過程から—」  
学部4年 佐藤周平 (安田慎研究室)
- 奨励論文賞「大学生アルバイトの研修制度における相互利益の追求:学生と企業にとっての意義と効果—飲食業界に焦点を当てて—」  
学部4年 中澤あかね (若林隆久研究室)
- 奨励論文賞「マラソン大会の集客成功による地域活性化の持続可能性—ぐんまマラソンの事例分析—」  
学部4年 永井春樹 (若林隆久研究室)

# 学生懸賞論文 令和6年度 受賞者のことば



## 最優秀論文賞



瀬下 希

個人経営レストランが持つ  
地域コミュニティへの関係性  
—群馬県富岡市のレストランのサードプレイス分析から—

大学時代の街なか活性を目的としたカフェ運営団体での活動経験からテーマを設定し研究を行いました。今回賞を頂くことができ大変光栄に思っております。また、本研究にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

## 優秀論文賞



佐藤 歩美

子どもの貧困と体験格差の現状と課題  
—体験が重要視されるには何が必要か—

貧困の世代間連鎖を断ち切るために活動する団体へのインタビューを通じて、体験格差の実態について学ぶことができました。また、原史子先生のご指導に感謝申し上げます。今回、受賞することができ光栄に思います。

## 奨励論文賞



佐藤 周平

草津温泉における  
温泉情緒をめぐる研究  
—温泉街における空間の弱体化と回復の過程から—

温泉街という非日常に興味をもち、その温泉情緒について研究をすすめました。議論が抽象的だったため何度も思案しましたが、論文を執筆することは、調査や議論の展開の仕方を学ぶかけがえのない時間となりました。

## 奨励論文賞



中澤 あかね

大学生アルバイトの研修制度における相互利益の追求:学生と企業にとっての意義と効果  
—飲食業界に焦点を当てて—

多くのアルバイトを経験して得た疑問を研究しました。飲食業界という限られた範囲の調査に留まりましたが、他業界との比較も捨てがたかったです。将来、指導側の立場になると、念頭に置き続けたい問題です。

## 奨励論文賞



永井 春樹

マラソン大会の集客成功による  
地域活性化の持続可能性  
—くんまマラソンの事例分析—

全国のマラソン大会における、集客課題とその改善策について研究しました。私自身ランニングが好きですが、初めて運営者の立場に立って研究を進めました。新たな視点で好きなことを見直し、学びが多かったです。

# 高崎経済大学地域政策学会 令和7年度 学生懸賞論文募集要項 (予定)

## 1. 趣 旨

高崎経済大学地域政策学会は、地域政策学部の教員、学生、卒業生等から構成され、会員による学術研究の成果を発表し、社会に貢献することを目的に活動しております。このたび、地域政策学部に所属する学部学生の研究活動を推進し、かつ独創性あふれる優れた論文執筆能力の育成を奨励するため、学生懸賞論文を募集いたします。応募資格等は下記の通りです。学生の皆さんのご応募を心よりお待ちしております。

## 2. 応募資格

- ・高崎経済大学地域政策学部に所属する1～4年次の学生(研究生は除く)
- ・グループによる応募も可

## 3. テーマ

原則自由(各自およびグループの関心にもとづいて自由に設定して構いません)

## 4. 応募期間

2025年11月下旬予定

## 5. 応募方法

投稿規程および執筆要領をもとに論文を作成し、下記の必要書類とともに学会事務局(図書館1階研究支援チーム内)宛にメールで提出してください。E-mail:c-gakkai@tcue.ac.jp

<提出書類>

- ・論文本体(A4版で、カラーまたは白黒).....1部
- ・論文要旨(A4版400字以内・学会ホームページからダウンロード).....1部
- ・学生懸賞論文応募申請書(学会ホームページからダウンロード).....1部
- ・電子媒体(Wordファイルをメールにて)提出期日までに学会事務局宛に提出

## 6. 表彰および賞金

最優秀論文賞(1編):表彰状と賞金5万円  
優秀論文賞(若干編):表彰状と賞金3万円  
奨励論文賞(若干編):表彰状と賞金1万円

## 7. 論文の審査および審査基準

(論文の審査)

- ・応募論文は、本学会に設置する学生懸賞論文審査委員会において厳正に審査します。
- ・一定の水準に達する論文がない場合は、該当なしとなる場合があります。



受賞作品は、図書館に所蔵されます